

2023 年度

事業報告

自 2023 年 4 月 1 日
至 2024 年 3 月 31 日

公益財団法人 自動車リサイクル高度化財団

東京都港区新橋六丁目 19 番 19 号
アセンド新橋2階

1. 事業の概況

<事業の経過及びその成果>

2017年3月に一般財団法人として正式に設立、2017年11月公益認定が完了。2024年3月で8期目の決算を迎えました。

① 助成事業の実施

今期は2022年度採択事業2件、および2023年度採択事業1件の公募事業の経過管理および2024年度公募事業の選定を行った結果、5件の事業を採択、また自主事業としてAI/IoTを用いた自動車リサイクル高度化実証事業を継続実施するとともに、CO2排出量可視化事業（フェーズ2）およびエアバッグ布およびシートベルトリサイクルのための基盤づくり事業を新たに実施いたしました。

	事業所名	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026
公募事業	株式会社矢野経済研究所	●	●			
	株式会社日立製作所	●	●	●		
	株式会社カウラ		●	●	●	
	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社			●	●	
	株式会社アビツ			●	●	
	一般社団法人日本自動車リサイクル機構			●	●	
	株式会社マテック			●		
	株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター			●	●	●

〔2022年度 自動車リサイクルの高度化等に資する事業〕

2022年度事業 実施概要

- ▷公募期間：2021年11月17日～2021年12月28日
- ▷選考実施日：2022年3月10日
- ▷採択/応募件数：2/3件

◇ 自動車由来樹脂リサイクル社会実装事業

代表事業者：株式会社 矢野経済研究所

共同事業者：一般社団法人日本自動車リサイクル機構、いその株式会社
協和産業株式会社

事業概要：本事業は資源回収インセンティブ制度の導入を見据え、効率的な樹脂等リサイクル管理モデルの実証により、事業者の参入障壁の低減を実現し、これまでのJ-FAR実証事業の「本格的な社会実装化」進展の一助となることを目指す。

所要経費：2024年3月支払額：¥58,747,891

◇ AI/IoT を活用した解体 作業・部品管理等の効率化検証事業

代表事業者：株式会社 日立製作所

共同事業者：株式会社 鈴木商会

事業概要：自動車リサイクル現場の以下課題に対し、AI/IoT を用いて解決策を提示し、その実現性・有効性を検証する。

- 車別の解体方針作成作業の自動化
- リサイクル工場内での車のトレーサビリティ化及び個体識別性の向上
- 部品取り作業及び部品のダメージ診断作業の効率化
- ニブラ作業の属人化解消

所要経費：2024年3月支払額： ¥121,357,598

〔2023年度 自動車リサイクルの高度化等に資する事業〕

2023年度事業 実施概要

▷公募期間：2022年11月18日～2022年12月28日

▷選考実施日：2023年3月7日

▷採択/応募件数：1/3件

◇ AI/IoT を活用した解体 作業・部品管理等の効率化検証事業

代表事業者：カウラ 株式会社

共同事業者：株式会社 アクト、株式会社 日本総合研究所、国立大学法人 東京大学

事業概要：EV電池の循環市場バリューチェーンを構築するために、電池価値顕在化のための計測診断とCO2管理を効率化するAI/IoTアプリケーション、および、多数の主体が電池価値を取引可能な流通プラットフォームを開発する。

所要経費：2024年3月支払額： ¥43,754,737

〔2024年度 自動車リサイクルの高度化等に資する事業〕

2024年度事業 実施概要

▷公募期間：2023年11月17日～2023年12月28日

▷選考実施日：2024年3月14日

▷採択/応募件数：5/7件

◇ ASR の低減等・自動車 3R の高度化に資するリサイクルシステムの事業性評価事業

代表事業者：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

共同事業者：一般社団法人板硝子協会

事業概要：ガラス繊維より大規模な再資源化を期待できる板ガラス（自動車、建築等）向けのカレット回収を念頭におき、再生原料に求められる品質基準・解体ガイドラインを具体化することで、ASR発生抑制に貢献することを目指す。

- ◇ ASR の低減等・自動車 3R の高度化に資するリサイクルシステムの事業性評価事業
 代表事業者：株式会社アビツ
 共同事業者：株式会社 UACJ、株式会社矢野経済研究所
 事業概要：自動車分野では展伸材 to 展伸材のリサイクルはほとんど事例がなく、自動車用展伸材はほとんどが新地金 100%で製造されている。回収されたアルミを合金種ごとに選別できれば、二次合金製造工程を経ずに、各種アルミ部品の製造原料へとダイレクトにリサイクルすることが可能となる。自動車部品としての活用が可能な展伸材 to 展伸材の水平リサイクル実現を目指す。そのため、まずは展伸材（冷延板材）のダイレクトリサイクルシステムの確立を目指す。

- ◇ ASR の低減等・自動車 3R の高度化に資するリサイクルシステムの事業性評価事業
 代表事業者：一般社団法人日本自動車リサイクル機構
 共同事業者：株式会社エコアール、協和産業株式会社、いその株式会社
 株式会社ヒラキン、株式会社矢野経済研究所
 事業概要：本事業では各コンソーシアムにおいて、実際に PP 樹脂部品回収、異物除去、破砕、輸送、検収等の作業を行い、JARS への登録を想定した管理を行うことで、解体・中間加工・破砕・電炉・再生材事業者・商社等の実務に基づいた工程別管理・実作業内容集を作成することが可能となる。また小規模トライアルにより、机上では想定しえなかった課題等の洗い出しにも繋がる。

- ◇ ASR の低減等に資する再生材の基礎技術研究・開発事業
 代表事業者：株式会社マテック
 共同事業者：三菱電機株式会社、シグ・エンジニアリング株式会社、ダイオーエンジニアリング株式会社
 事業概要：本事業では、湿式比重分離、静電選別、赤外線ソーター等の手法を適切に組み合わせることにより、効率的なリサイクル方法を検討し、高品質・高回収率かつ低コスト・低環境負荷のリサイクル樹脂回収技術の確立を目指した選別技術を検証する。

- ◇ ASR の低減等と自動車への再生材の利用に向けた設備開発事業
 代表事業者：株式会社山形県自動車販売店リサイクルセンター
 共同事業者：特定非営利活動法人山形県自動車公益センター
 事業概要：従来の普通乗用車の廃タイヤのリサイクルは、切断工程＋粉砕工程＋分離工程であるが、本事業では粉砕と分離を融合した新システムで検証を行う。具体的には、廃タイヤからゴムとスチールワイヤを分離・粉砕したのち、6 種類の選別技術を複合化し、選別効率を向上させる。

事業名		FY2022	FY2023	FY2024
自主事業	AI/IoTを用いた自動車リサイクル高度化実証事業	●	●	●
	CO2排出量可視化事業(フェーズ2)		●	
	エアバッグ布およびシートベルトリサイクルのための基盤づくり事業		●	●

〔2022年度 自主事業〕

◇ AI/IoTを用いた自動車リサイクル高度化実証事業

業務委託業者：株式会社 NTT データ経営研究所

契約形態：随意契約

事業概要：自動車リサイクル領域へのAI/IoTの適用について、現行のリサイクルスキームにおける技術的課題、制度的課題等を抽出したうえで、AI/IoT活用による自動車リサイクルの高度化を達成するための基盤の明確化、AI/IoT適用に向けた道筋を設定する。

〔2023年度 自主事業〕

◇ CO2排出量可視化事業（フェーズ2）

業務委託業者：エム・アール・アイリサーチアソシエーツ株式会社

契約形態：一般競争入札

事業概要：2050年カーボンニュートラル及び更なる資源循環を推進する上で、自動車リサイクルにおけるCO2排出量を把握・公表し、関係者に幅広く認識いただく。

◇ エアバッグ布およびシートベルトリサイクルのための基盤づくり事業

業務委託業者：株式会社矢野経済研究所

契約形態：随意契約

事業概要：エアバッグ布およびシートベルトのリサイクル促進のために、ELVからの取外しからリサイクル素材・原料とするまでの一連の工程の基準づくり、プロセスおよびCO2の見える化、化学物質に対する安全性の担保を実施し、最終的にリサイクル用素材・原料カタログを作成。

② 寄附の状況

2017年11月21日公益認定取得後、自動車メーカー等に寄附を依頼し、2024年3月期には5社から253,691,846円の寄附金を拠出いただくことができました。

〔寄附金受取一覧〕

(単位：円)

企業名	寄附金額
スズキ 株式会社	50,000,000
株式会社 SUBARU	8,000,000
本田技研工業 株式会社	143,000,000
マツダ 株式会社	30,119,942
三菱自動車工業 株式会社	22,571,904
合 計	253,691,846

※ 本情報は当期事業報告並びに収支報告の公表とともに、当財団 HP にて報告いたします。

③ 正味財産増減の状況

	2023 年度	2022 年度	増減
経常収益合計	586,889 千円	279,340 千円	307,548 千円
経常費用合計	586,889 千円	279,340 千円	307,548 千円
当期経常増減額	- 千円	- 千円	- 千円
資産合計	9,839,911 千円	9,868,901 千円	△28,989 千円
負債合計	480,887 千円	190,569 千円	290,318 千円
正味財産	9,359,024 千円	9,678,332 千円	△319,308 千円

2. 法人管理

2023(令和5)年度の評議員会、理事会の開催経過は下表のとおりです。

◇ 評議員会

通算回数・開催日	議 事 事 項
第9回評議員会 2023年6月26日(月)	〔決議事項〕 第1号議案 2022年度事業報告(案)及び決算報告(案)について ⇒全員一致で承認 第2号議案 評議員選任の件 ⇒全員一致で承認 第3号議案 理事選任の件 ⇒全員一致で承認 〔報告事項〕 1. JFAR 中長期ビジョン策定に関して 2. 2023年度自動車リサイクル高度化助成事業採択の報告 3. 2022年度資金運用実績等報告

◇ 理事会

通算回数・開催日	議 事 事 項
臨時理事会 2023年4月19日（水）	〔決議事項〕 第1号議案 自主事業採択の件 ⇒全員一致で承認
第26回理事会 2023年6月7日（水）	〔決議事項〕 第1号議案 2022年度事業報告（案）および決算報告（案） ⇒全員一致で承認 第2号議案 第9回定時評議員会開催の件 ⇒全員一致で承認 第3号議案 選考委員および委託業務委託委員新任および継続委嘱の件 ⇒全員一致で承認 第4号議案 資金運用規程改定の件 ⇒全員一致で承認 第5号議案 2023年度資金運用計画（案） ⇒全員一致で承認 第6号議案 委員会報酬規程改定の件 ⇒全員一致で承認 〔報告事項〕 1. JFAR 中長期ビジョン策定に関して 2. 連絡事項その他
臨時理事会 2023年8月30日（水）	〔決議事項〕 第1号議案 自主事業採択の件 ⇒全員一致で承認
臨時理事会 2023年10月6日（金）	〔決議事項〕 第1号議案 自主事業採択の件 ⇒全員一致で承認 第2号議案 自主事業事業費増額承認の件 ⇒全員一致で承認
第27回理事会 2023年11月8日（水）	〔決議事項〕 第1号議案 2024年度事業計画（案） 〔報告事項〕 1. 代表理事および業務執行理事の業務執行報告 2. 2022年度公募および自主事業に係る事業報告会の報告 3. 連絡事項その他

第 28 回理事会 2024 年 3 月 27 日（水）	〔決議事項〕
	第 1 号議案 2024 年度事業計画（案）および収支予算（案） 第 2 号議案 2024 年度公募事業採択の件 第 3 号議案 自主事業採択の件 第 4 号議案 2023 年度資金運用実績報告および 2024 年度資金運用計画（案） 第 5 号議案 役員賠償責任保険継続加入について 〔報告事項〕 1. 代表理事および業務執行理事の職務執行状況の報告 2. その他（2023 年度公募事業採択結果(継続事業)について）

3. 法人の概要

(1) 主な事業内容

- 自動車リサイクルの高度化等に関する学術的・実践的調査・研究の推進及び助成事業
- 消費者団体等の自動車リサイクルに関する周知活動支援事業
- その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

(2) 事業所

東京都港区新橋六丁目 19 番 19 号 アセンド新橋 2 階

(3) 役員等に関する事項

① 理事及び監事の氏名等

(2024 年 3 月現在)

氏名	当法人における地位	担当または主な職業
おおわだ しゅうじ 大和田 秀二	代表理事	早稲田大学理工学術院 教授
やました ひでとし 山下 英俊	理事	一橋大学大学院経済学研究科 准教授
きざわ りょうこ 鬼沢 良子	理事	NPO 法人持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長
しまむら たかし 嶋村 高士	理事	トヨタ自動車株式会社 環境エンジニアリング部 担当部長
くろさわ ひでお 黒澤 秀雄	理事	一般社団法人 自動車再資源化協力機構 業務執行理事
いぐち かずのぶ 井口 多伸	業務執行理事	自動車リサイクル高度化財団 事務局長
なかた ちず子 中田 ちず子	監事	中田公認会計士事務所 代表
ながおか みな 長岡 美奈	監事	長岡公認会計士・税理事務所

- ② 会計監査人
協和監査法人（代表社員・公認会計士 高山 昌茂）

- (4) 従業員の状況
2024年3月現在の従業員は、常勤理事1名、出向職員2名です。

- 4. 決算日後に生じた法人の状況に関する重要な事実
特にありません。

以上